

雪による 事故・被害にご注意を!

雪による事故や被害を未然に防ぐため、次のことに注意しましょう。

雪下ろし作業について

1. 作業は2人以上で!

雪下ろし作業は、安全確保のため2人以上で行いましょう。やむを得ず1人で作業する場合は家族や隣近所に声を掛けてから行いましょう。また、緊急時の連絡手段として作業中も携帯電話等を携行しましょう。

2. 晴れた日ほど要注意!

晴れた日や、暖かい日の午後は屋根の雪が緩んで滑りやすくなります。雪解け氷や、雪が動く音にも注意しながら作業を行いましょう。

3. 「命綱」「ヘルメット」 「はしごの固定」を忘れずに!

転落防止のための命綱を使用し、ヘルメットを着用して頭部を保護しましょう。屋根に上がる際は、はしごの足場をしっかりと固定しましょう。

4. 除雪機械のトラブルが発生したら エンジン停止!

衣類が巻き込まれたり、転倒した際に下敷きになる危険性があります。詰まった雪を取り除く際にも油断せずに、必ずエンジンを停止させましょう。

5. 無理な作業はやめましょう!

雪下ろしは重労働です。準備運動や十分な休憩をとるなど、体調に気を付けて作業を行いましょう。体調が悪い場合は、無理をせずに作業をやめましょう。

冬期間の交通安全について

冬道でのスリップ事故が多発しています。路面の凍結やスピードの出し過ぎに注意し、時間に余裕をもって車の運転をしましょう。

消防署からのお願い

冬の火災に要注意!

冬は積雪のため住宅の出入り口が狭くなり、避難に時間が掛かることがあります。万一に備えて、次の点に注意しましょう。

●避難口を確保しましょう

積雪で玄関がふさがっても避難できるようにするため、避難口を2カ所以上確保しましょう。

●消火栓や防火水槽の周囲の 除雪にご協力ください

屋根の雪下ろしや除雪機での雪飛ばしをするときは、消火栓や防火水槽に雪をかぶせないようご注意ください。

●油の流出事故にご注意ください

落雪や雪下ろしの際は、ホームタンクなどの給油管の破損・脱落に注意し、給油の際は絶対にその場を離れないようにしましょう。

問い合わせ

大曲消防署東分署 ☎0187(88)2119

大曲消防署南分署 ☎0187(87)8119

冬道の事故防止ポイント

- ①車の運転スピードは控えめにしましょう。
- ②車間距離は長めにとりましょう。
- ③急ハンドル・急ブレーキは控えましょう。
- ④下り坂やカーブの手前では減速しましょう。
- ⑤トンネルや橋の上、日陰は注意しましょう。

町内の河川、農業用排水路の水質調査結果をお知らせします

町では、家庭や工場からの排水や町内にある廃棄物処分場（一般廃棄物最終処分場・産業廃棄物中間処理施設）が水環境に影響を与えていないかをチェックするため、河川などの水質調査を行っています。今年度は河川5カ所と農業用水2カ所で8月と11月に調査を実施し、河川は「生活環境の保全に関する環境基準」の項目について、農業用水は「農業用水基準」の項目について測定値を確認しました。

河川についてはそれぞれの基準への適合状況が良く、いずれも良好な状況であることが確認されました。しかし、

大腸菌群数については一部を除きすべての調査地点で基準値を上回る結果となりました。

農業用水のうち、吐出草地下流においてはすべての項目で基準値に適合している結果となりました。一方、籠林用水路においては8月調査時には全窒素、11月調査時には化学的酸素要求量、溶存酸素、全窒素が基準値を上回る結果となりました。

町では引き続き河川の水質の監視を続け、水質汚濁防止や河川環境維持に努めます。

◆水質分析結果（河川）

○：適合 ×：不適合

地 点	指定類型	水素イオン濃度		生物化学的酸素要求量		浮遊物質		溶存酸素		大腸菌群数	
		8月判定	11月判定	8月判定	11月判定	8月判定	11月判定	8月判定	11月判定	8月判定	11月判定
丸子川横関橋	河川類型 A	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
出川釜蓋橋	河川類型 A	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
横手川境大橋	河川類型 B	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
菩提沢川(狐森)	河川類型 なし	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
西ノ沢川(湯竹)	河川類型 なし	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

◆水質分析結果（農業用水）

地 点	指定類型	水素イオン濃度		化学的酸素要求量		浮遊物質		溶存酸素		全窒素	
		8月判定	11月判定	8月判定	11月判定	8月判定	11月判定	8月判定	11月判定	8月判定	11月判定
農業用水(籠林)	農業用水利	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×
農業用水(吐出)	農業用水利	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

環境キーワード

指定類型

大きな河川には“類型”が定められており、それに応じて生活環境保全に関する基準が決められています。

水素イオン濃度 (pH)

水の酸性、アルカリ性の度合いを示す指標。有害物質の混入などの異常発生時にこの数値が急激に変化することから、水質を監視する指標として用いられています。

生物化学的酸素要求量 (BOD)

水中にある有機物を、バクテリアなどの微生物が分解する時に消費される酸素量。一般的に、数値が大きくなれば水中に有機物が多く、水が汚濁していることを示しています。

化学的酸素要求量 (COD)

水中にある有機物を、酸化剤で分解する際に消費される酸化剤の量を酸素量に換算したものを。一般的に、数値が大きくなれば水中に有機物が多く、水が汚濁していることを示しています。

浮遊物質 (SS)

水中にある、顕微鏡で見える程度の大きさの粒子の量。この数値が高いほど水が濁っていることを意味しています。

溶存酸素 (DO)

水中に溶解している酸素量。魚介類などの生物が生存するためには一定量の溶存酸素が必要とされています。この数値が高いと臭気が発生します。

大腸菌群数

大腸菌および大腸菌と性質が似ている細菌の数を示し、し尿汚染の指標として用いられます。

全窒素 (TN)

有機および無機（アンモニア態、亜硝酸態、硝酸態）の窒素化合物の総量。過繁茂の原因である水の富栄養化の程度を示す指標として用いられます。

問●町住民生活課 環境安全班 ☎0187 (84) 4903